

平成16年度第3回尾張旭市交通問題懇話会

1 開催日時

平成16年7月9日（金）

開会 午前9時30分

閉会 午前11時35分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 講堂1

3 出席者名

会長：加藤哲男 副会長：黒田鉦司

構成員：大澤一夫、荻原善夫、奥野昌明、加藤桃代、荻谷勝、近藤重男、
櫻井栄二、田中悦子、田中さゆり、寺田千珠子、戸松秀男、
服部正勝、林喜一、日比野正夫

顧問：伊豆原浩二

事務局：加藤和人、秋田誠、長江均、森重憲、森純子、大和弘明

4 議題等

- (1) 第2回交通問題懇話会会議概要の確認について
- (2) ルート案、運行時間、本数、運行車種等について
- (3) その他

5 会議の要旨

(1) 第2回交通問題懇話会会議概要の確認について

第2回の懇話会会議概要の内容確認において一部申出事項訂正の上、ホームページに掲載することを了承。

(2) ルート案、運行時間、本数、運行車種等について

(事務局)

前回の懇話会において事務局から出したルート案（たたき台）では乗車時間が最大1時間かかるため、なかなか乗る気になれないとの意見もあり、再度事務局で30分程度のルート案を作成してみた。「乗車時間が30分」、「交通空白地域の解消」、「駅・病院・店舗を通る」の3点を考慮して考えると、ループ案では難しく、シャトル案を考えてみた。西ルート、東ルートで市内の3分の2をカバーし、南ルートを合わせれば全市域をカバーできるのではないかと。ただし、試験運行ということを考えれば費用は車両2台分程度が現実的なラインと思われるため、2台の車で3つのルートを試験運行してはどうだろうか。車両

が2台と限られているので常に1時間毎の配車はできないが、30分乗車でシャトル方式のため双方向運行が可能になる。これまでの懇話会での意見を取り入れ、事務局で模索し、案として提出させていただいたので、実証実験をまずやってみるということで、検討してもらえないだろうか。

(会長)

片道30分のシャトル方式で交通空白地を解消したこの案について意見をもらいたい。

(構成員)

なかなか良い感じで考えてもらっている。将来はこれを拡大してもらいたい。この案では尾張旭駅のロータリーが発着になっているが、駅よりもスーパーへの需要が多いと思う。だからスーパー（アスカ）まで延長してもらった方が便利ではないか。

(構成員)

時刻表について、中心部から行ったきり帰ってこれない場合がある。

(構成員)

自分自身でもいろいろ考えた結果、シャトルにすればいいと考えていた。事務局案はよく考えてもらっているが、できれば買い物に重点をおいたルートにしたい。また、スカイワードを経由したルート設定をお願いしたい。

(構成員)

南ルートは図書館が発着になっているが、尾張旭駅発着がよいのでは。（南ルートも尾張旭駅を経由することです承）

(構成員)

午前中用事があって、午後まで同じところにいることはまずない。午後の便をなくした西春町の方法もあってもよい。

(構成員)

病院は9時、スーパーは10時なので、午前中の便を6割ぐらいにしてほしい。

(構成員)

良い案ができている。駅を中心に考えられているが、アスカなどスーパーも

考慮したほうが良い。

（構成員）

南ルートでは図書館から尾張旭駅まで多少時間があるので、駅で一緒にならないのではないか。

（会長）

構成員から意見を出してもらったが、これについて事務局から回答をお願いしたい。「駅からスーパーまでの延伸」、「時刻表について行ったきりになる」の件について。

（事務局）

検討をさせてもらう。個々細部については「2台で3ルート」の方向性が認められれば考えていきたい。良い方向で修正していきたいが、今この場で明確な回答は出せない。

（顧問）

運行の方法等については、どういう形で入札等にもっていくかにもよるが、午前中手厚くするという条件で入札等を行うというの也被えられる。例えば、午前中3台、午後は間引きするという条件。業者がこのような方向で受けてくれれば問題ないが……。ルート案自体はこれでよいと思われるが、あとは使いい勝手が良いように考えていけばよいのでは。

（構成員）

スーパーに対してどのような協力がしてもらえるのか。予算にもしはられるが、関係団体からお願いしてもらってもよいのでは。

（顧問）

市役所敷地内を西から東へ抜けてもアスカへ行けるのではないか。また、市役所に停留所を設置し、あとは徒歩でアスカまでということも考えられる。

（構成員）

車種とルートの関係についてはどうか。

（事務局）

前回試走して、道路状況等をご理解いただいていると思うが、すれ違いや停車等を考えると事務局としてはジャンボタクシークラスから議論を始めてはと

考えている。

（構成員）

ジャンボタクシーは反対。先日他の市町も見学したが、元気のあるお年寄りには乗らない。病院用の感が強い。知り合い同士なら良いが、新たに乗る人は乗りにくい。将来の発展がないと思われる。できれば20人乗りくらいがいい。

（構成員）

ジャンボタクシーより大きい車種はルートの的に難しい。

（構成員）

平子から労災病院に抜ける道は狭いけれど、気を付けて走れば送迎バスは通れないことはないと言ったと労災病院のバスの運転手に聞いた。

（構成員）

20人乗りを使うならジャンボタクシーをもっと台数を増やして使った方がよい。

（事務局）

やはり2台分の予算が限度ではないかと考えている。発展性ということで考えれば、むしろジャンボタクシーの方が発展性があるのではないかと。試行運転中にこれでやって、足りないという意見が出てくればそこでさらに充実、発展していけるのではないかと。

（構成員）

ジャンボタクシーで止むを得ない気がしている。実証実験が終わった後で、実際どういう車種が良いのかを再度議論すればよい。ただし、乗りきれなかった場合はどうするのか。

（事務局）

今、事務局としては案は持っていない。業者が決まる時期にこうした問題の対応を考えなければならないと思っている。

（顧問）

多くの自治体ではそうした条件を入れて入札等を行っている。乗客の積み残しの場合には何らかの対応をとるという条件をつけて入札を行うしかない。

(構成員)

乗客が9人なのか。助手席も使って9人なのか。

(事務局)

助手席も含めて9人となっている。

(構成員)

ジャンボタクシーというと西春町のようなものか。

(事務局) その通り。

(構成員)

ジャンボタクシーの段差は高いのか。

(事務局)

残念だが高い。

(構成員)

ジャンボタクシーは基本的には乗りにくいし、奥に座った人は降りにくい。が、あくまでも実証実験なので仕方ないと思う。

(会長)

各ルートについて意見がいただきたい。まず、西ルートについて意見はあるか。

(構成員)

アスカまでは考えてもらえるか。

(事務局)

スーパーの中までは難しいが、何らかの形で配慮できるのではないかと考えている。

(構成員)

城山公園、スカイワード、平子公民館を経て、城山小学校の南を通る案はどうか。

(事務局)

参考にさせてもらいたい。

(構成員)

8.5kmで30分というのは停留所も考えて走ったのか。停留所はどれくらい考えているのか。

(事務局)

停留所については、300から500mにひとつを考えている。ルート延長に関しては、停留所の配置などによりもう少し距離を伸ばしたらどうかという意見も出てくるであろうが、時間的に考えると厳しい。

(顧問)

調整時間等もあるので、8km程度が一番良い。

(会長)

右折信号待ちなども考えると東ルート、南ルートは30分でも厳しいかもしれない。

東ルートについての意見はどうか。

(構成員)

三郷駅のところを南北に突っ切るのではなく、旧街道を通してスギヤマ薬品のところを通らせてもらった方が良い。三郷駅の前は渋滞するし、停留所も設置が難しいのでは。

(構成員)

スーパーのためにあまり便利にすると一般中小事業者の反応も心配ではないか。

(会長)

停留所を店舗の一部に待合所という形で設置しても、ものすごく売上が上がったということは聞いたことはないが。

(構成員)

協賛金をもらってやっているところもあるので、懇話会でお願いしてもよいのでは。

(会長)

ルート上の店の情報を車内に貼る等も考えられる。

(会長)

南ルートについての意見をお願いしたい。

(構成員)

住宅分布から考えれば、国道３６３号線に出たほうが、新池を通るよりも利用は多いと思われる。南部市民センターができれば変えればよい。

(構成員)

今のルートでは池の南側は家がないため、乗る人は少ない。

(会長)

それぞれのルートで意見を出してもらったが、ジャンボタクシーで３ルートを前提として予算要求をしてもらうということでご了承いただいたということですね。

あと、時刻表について意見があれば出してもらいたい。

(構成員)

土日の扱いは。

(事務局)

原則毎日（年末年始は除く）運行することを考えている。

(会長)

実証実験を始めてどのようになるかは変わらと思う。停留所については、提案はできるが、交通安全上の問題もあるので最終的には警察に協議が必要になる。

(顧問)

自分が良いと思った停留所を考えてもらえれば、事務局案が作りやすい。ここで自分たちの停留所案を紙に書いてもらえるとありがたい。

<西、東、南ルートに分かれて停留所案をグループワーク>

(3) その他

(事務局)

第4回を7月27日(火)午前10時から201会議室にて開催。停留所の位置の話と、利用料金の検討をお願いしたい。

ただし、停留所については警察署との協議が必要だが、次回までには協議は不可能であるため、それだけはご了解いただきたい。

(構成員)

ジャンボタクシー2台が満杯になるのがよいが、評価基準が必要ではないのか。さらに、試行運転を広報で知らせるだけでは頼りないので、特にシニアクラブには懇切に説明する機会を今から考えておいたほうがよいのでは。

(会長)

名古屋産業大学の大学祭を市民祭と同日に行う予定だが、尾張旭市のバスシステムの展示を考えている。皆様にも市民へのお知らせをお手伝い願いたい。

(構成員 9)

他の市町の巡回バスを行うにあたり、地域活性化の関係で国などに申請すると補助金が出るという話を聞いたが。

(事務局)

補助金についても勉強をしている。承知しているが、当市に合うかどうかとも検討しながら勉強していく。

(顧問)

いろいろなやり方がある。行政の補助もある。スーパーにお願いする方法もある。市が業者へ委託する方法もあれば、懇話会のような運行協議会が業者に委託して、そこに市が補助金を出すというやり方もある。全国ではいろいろな方法がある。試験運行だからこれで終わりではなく、懇話会のメンバーももっとこうしたらどうかなど、継続的に勉強していく必要がある。